

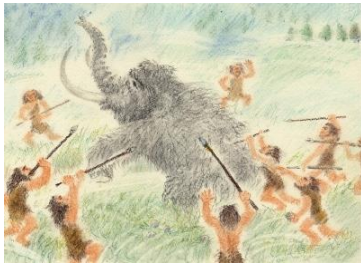
かんちゃん先生のリトラビ雑学TV"要約プリント"

動画配信⑫

昔のごちそう

今回のビデオを観て、このようなポイントが要約できていればOK！

- 石器時代：人間が狩りをして食べ物を手に入れていた時代。
まだ、日本にも大型動物（ぞうなど）が住んでいた。
ぞう一頭で、約2トンのお肉（約3千人分）が摂れた。
（その後、植物を新しい食べ物として食べ始める）
- 平安時代：お米がごちそうだった。値段も高く高級品だった。
狩りよりも農業や漁業が中心。魚介類はよく食べられていた。お肉はごはんと共に高級品。
- 江戸時代：住む場所や身分によってごちそうは違っていた。
農民のごちそう：お米
町民：屋台でてんぷらやお寿司などが食べられた。
- ごちそうは初物（その季節に初めて収穫されたもの）だとされていた。



今回のテーマに関連した、さらにグレードUPのおすすめ学習テーマはこんな感じ

- 今日出てこなかった時代についても調べてみよう！
- 身分の違いについて、調べてみるとその時代の背景が見えてくるよ。ぜひ、調べてみてね。
- 現在のごちそうについて、地方別に調べてみるのも面白そう！
- 「ごちそう」は時代と共に変化してきました。
ごちそうを食べるシーンを思い浮かべて楽しく過ごしたいですね。



親子で楽しみながら、お互いにどのくらい要約できていたのか共有してみてください。